



## 2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日

上場会社名 (株)アルバック 上場取引所 東  
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 岩下 節生  
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 IR室長 (氏名) 梅田 彰 TEL 0467-89-2033  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年6月期第1四半期の連結業績 (2019年7月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	46,775	△24.2	4,897	△43.5	6,076	△32.3	3,443	△43.4
2019年6月期第1四半期	61,728	1.3	8,671	△2.6	8,977	△2.1	6,083	△4.0

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 4,182百万円 (63.3%) 2019年6月期第1四半期 2,561百万円 (△65.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	69.87	—
2019年6月期第1四半期	123.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	278,163	155,800	53.8
2019年6月期	282,302	157,588	53.5

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 149,567百万円 2019年6月期 150,912百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	—	—	105.00	105.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期 (予想)	—	—	—	105.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想 (2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	97,500	△16.5	8,500	△45.1	9,000	△45.0	6,000	△46.6	121.76
通期	205,000	△7.1	22,500	△5.6	23,500	△8.1	15,500	△17.0	314.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期1Q	49,355,938株	2019年6月期	49,355,938株
② 期末自己株式数	2020年6月期1Q	76,818株	2019年6月期	76,792株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期1Q	49,279,129株	2019年6月期1Q	49,273,602株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12
3. 補足情報	13
(1) 販売実績	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	2019年6月期 第1四半期	2020年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	77,742	35,174	△54.8%
売上高	61,728	46,775	△24.2%
営業利益	8,671	4,897	△43.5%
経常利益	8,977	6,076	△32.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	6,083	3,443	△43.4%

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さもみられるものの設備投資が増加するなど緩やかに回復してきました。米国では、個人消費の増加などにより景気は回復が続いてきました。欧州では、景気は一部に弱さが見られるものの個人消費が増加するなど緩やかに回復してきました。中国では、このところ消費の伸びが低下し、輸出が減少するなど緩やかに減速してまいりました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス市場において、データセンター向けサーバー需要やスマートフォン需要の減速等により半導体メモリーメーカーの設備投資は足元では調整局面にありますが、中長期的にはスマート化社会の進展に向けた投資が活発化するものと見られます。一方、フラットパネルディスプレイ（FPD）業界においては、大型液晶パネルの設備投資が継続するものの、大型商談は一段落しており、スマートフォン用有機ELパネルの設備投資も継続しているものの、一部投資延期等の動きも見られます。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間につきましては、受注高は351億74百万円(前年同期比425億68百万円(54.8%)減)、売上高は467億75百万円(同149億53百万円(24.2%)減)となりました。また、損益につきましては、営業利益は48億97百万円(同37億74百万円(43.5%)減)、経常利益は60億76百万円(同29億1百万円(32.3%)減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、34億43百万円(同26億39百万円(43.4%)減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

## 「真空機器事業」

(単位：百万円)

	2019年6月期 第1四半期	2020年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	69,613	27,286	△60.8%
売上高	54,420	39,934	△26.6%
営業利益	8,085	4,648	△42.5%

真空機器事業を品目別に見ると次のとおりです。

## (FPD及びPV製造装置)

FPD製造装置は、大型液晶パネルの設備投資が継続するものの、大型商談は一段落しており、スマートフォン用有機ELパネルの設備投資も引き続き継続しているものの、一部投資延期等の動きも見られ、受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。

## (半導体及び電子部品製造装置)

半導体関連は、NANDフラッシュメモリーやDRAM、次世代不揮発性メモリー向けスパッタリング装置・自然酸化膜除去装置などが足元のメモリー関連投資の減速を受け、売上高は前年同期に比べ低調な結果となりましたが、ロジック向けスパッタリング装置などが寄与し、受注高は前年同期を上回りました。電子部品関連は、通信デバイスやパワー半導体向け製造装置が堅調に推移しました。

(コンポーネント)

コンポーネント関連は、受注高、売上高ともに前年同期を下回りましたが、有機EL製造装置に搭載するクライオポンプや真空ポンプ、計測機器などが堅調に推移しました。

(一般産業用装置)

自動車部品製造用真空熱処理炉や高機能磁石製造装置、漏れ検査装置などの受注、売上を計上しましたが、中国での設備投資低迷などにより、受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。

その結果、真空機器事業の受注高は272億86百万円、受注残高は797億97百万円、売上高は399億34百万円となり、46億48百万円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

(単位：百万円)

	2019年6月期 第1四半期	2020年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	8,129	7,889	△3.0%
売上高	7,308	6,841	△6.4%
営業利益	608	239	△60.7%

真空応用事業を品目別に見ると次のとおりです。

(材料)

主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを中心に受注、売上を計上しましたが、装置稼働低下の影響などにより、受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。

(その他)

マスクブランクス関連は、高精細、高機能ディスプレイが堅調に推移、表面分析機器関連も寄与し、売上高は前年同期並み、受注高は前年同期を上回りました。

その結果、真空応用事業の受注高は78億89百万円、受注残高は73億44百万円、売上高は68億41百万円となり、2億39百万円の営業利益となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

前連結会計年度末に比べ、41億39百万円減少となりました。主な要因は、現金及び預金が58億79百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が17億92百万円減少したこと、繰延税金資産が13億37百万円減少したこと、一方で、たな卸資産が36億91百万円増加したこと、投資有価証券が27億76百万円増加したことなどであります。

（負債）

前連結会計年度末に比べ、23億51百万円減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が25億81百万円減少したこと、長期借入金が17億12百万円減少したこと、一方で、前受金が15億12百万円増加したこと、短期借入金が5億75百万円増加したことなどであります。

（純資産）

前連結会計年度末に比べ、17億88百万円減少となりました。主な要因は、利益剰余金が19億93百万円減少したこと、一方で、その他の包括利益累計額が6億48百万円増加したことなどであります。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少、前受金の増加などのプラス要因に対し、たな卸資産の増加、仕入債務の減少などのマイナス要因により、35億11百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、4億62百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

長期借入金の減少、配当金の支払などにより、68億76百万円の支出となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、42億9百万円減少し、516億49百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の業績予想につきましては、前回公表値（2019年8月7日）の見通しを変えておりません。

（注）この決算短信で述べている将来の当社に関する見通しは、現時点で把握しうる情報をもとに作成したものです。当社グループの主要取引先であるFPD、半導体及び電子部品業界は、特に技術革新のスピードが大変速く、かつ、競争の激しい産業です。また、世界経済、為替レートの変動、原材料価格、FPD、半導体及び電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的、間接的に影響を与える様々な外部要因があります。従いまして、実際の売上高及び利益は、この決算短信に記載している予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,557	52,678
受取手形及び売掛金	77,236	75,444
商品及び製品	3,937	4,166
仕掛品	24,033	27,149
原材料及び貯蔵品	11,803	12,150
その他	6,840	5,506
貸倒引当金	△444	△437
流動資産合計	181,962	176,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	29,951	29,358
機械装置及び運搬具 (純額)	17,459	17,381
工具、器具及び備品 (純額)	1,981	1,846
土地	8,357	8,356
リース資産 (純額)	715	2,691
建設仮勘定	7,226	6,293
有形固定資産合計	65,687	65,927
無形固定資産		
リース資産	55	54
ソフトウェア	1,030	1,161
その他	2,361	2,127
無形固定資産合計	3,446	3,342
投資その他の資産		
投資有価証券	13,797	16,574
繰延税金資産	10,180	8,844
その他	11,690	8,908
貸倒引当金	△4,462	△2,087
投資その他の資産合計	31,207	32,239
固定資産合計	100,340	101,508
資産合計	282,302	278,163

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,748	38,167
短期借入金	14,915	15,490
リース債務	306	444
未払法人税等	2,802	2,153
前受金	15,849	17,361
賞与引当金	3,625	4,925
役員賞与引当金	485	123
製品保証引当金	1,632	1,620
受注損失引当金	1,099	1,011
その他	13,041	10,970
流動負債合計	94,501	92,266
固定負債		
長期借入金	20,668	18,956
リース債務	551	2,343
繰延税金負債	16	14
退職給付に係る負債	7,846	7,716
役員退職慰労引当金	75	—
役員株式給付引当金	145	137
資産除去債務	399	400
その他	512	531
固定負債合計	30,213	30,097
負債合計	124,714	122,363
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	120,985	118,992
自己株式	△247	△247
株主資本合計	145,522	143,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,652	8,684
為替換算調整勘定	266	△1,174
退職給付に係る調整累計額	△1,528	△1,473
その他の包括利益累計額合計	5,390	6,038
非支配株主持分	6,676	6,233
純資産合計	157,588	155,800
負債純資産合計	282,302	278,163



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	61,728	46,775
売上原価	44,017	34,707
売上総利益	17,710	12,068
販売費及び一般管理費	9,039	7,171
営業利益	8,671	4,897
営業外収益		
受取利息	37	44
受取配当金	193	167
受取賠償金	13	704
持分法による投資利益	38	101
その他	241	351
営業外収益合計	521	1,366
営業外費用		
支払利息	77	93
その他	138	94
営業外費用合計	215	187
経常利益	8,977	6,076
特別利益		
投資有価証券売却益	—	62
特別利益合計	—	62
特別損失		
減損損失	—	4
特別損失合計	—	4
税金等調整前四半期純利益	8,977	6,134
法人税、住民税及び事業税	2,089	1,504
過年度法人税等	—	589
法人税等調整額	517	404
法人税等合計	2,605	2,498
四半期純利益	6,372	3,637
非支配株主に帰属する四半期純利益	289	193
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,083	3,443

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	6,372	3,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,621	2,034
為替換算調整勘定	776	△1,390
退職給付に係る調整額	39	56
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△154
その他の包括利益合計	△3,811	546
四半期包括利益	2,561	4,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,219	4,091
非支配株主に係る四半期包括利益	342	91

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,977	6,134
減価償却費	1,679	1,879
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△382	△2,366
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,564	1,308
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△33	△37
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△34	△75
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△10	△9
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△136	△1
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△68	△87
受取利息及び受取配当金	△230	△210
支払利息	77	93
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△62
売上債権の増減額 (△は増加)	3,175	1,807
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,160	△4,915
仕入債務の増減額 (△は減少)	551	△1,788
前受金の増減額 (△は減少)	△839	1,782
未払消費税等の増減額 (△は減少)	69	△853
その他	2,578	4,140
小計	14,778	6,739
利息及び配当金の受取額	257	265
利息の支払額	△74	△106
法人税等の支払額	△4,242	△3,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,719	3,511
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,172	△487
定期預金の払戻による収入	2,175	2,137
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,988	△2,155
投資有価証券の売却による収入	-	95
その他	△232	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,217	△462
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△24	875
長期借入金の返済による支出	△2,000	△1,984
配当金の支払額	△4,509	△4,955
自己株式の取得による支出	-	△0
その他	△631	△812
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,164	△6,876
現金及び現金同等物に係る換算差額	438	△383
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	775	△4,209
現金及び現金同等物の期首残高	54,348	55,859
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,124	51,649

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国の連結子会社において、当第1四半期連結会計期間よりASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用)

米国を除く在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

当該会計基準の適用(以下、本適用)により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産および負債を認識するとともに、使用权資産の減価償却とリース債務に係る支払利息を計上しております。本適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、リース債務は適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定し、使用权資産はリース債務と同額を計上する方法を採用しております。

この変更に伴い、当第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産の「リース資産」が2,125百万円、流動負債及び固定負債の「リース債務」が2,061百万円それぞれ増加しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の損益に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,420	7,308	61,728	—	61,728
セグメント間の内部売上高 又は振替高	719	509	1,229	△1,229	—
計	55,139	7,817	62,956	△1,229	61,728
セグメント利益	8,085	608	8,693	△21	8,671

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,934	6,841	46,775	—	46,775
セグメント間の内部売上高 又は振替高	862	325	1,187	△1,187	—
計	40,796	7,167	47,962	△1,187	46,775
セグメント利益	4,648	239	4,887	10	4,897

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、当社が保有する投資有価証券の一部を2019年11月11日に売却いたしました。これにより、2020年6月期第2四半期連結会計期間に投資有価証券売却益(特別利益)を計上いたします。

1. 投資有価証券の売却理由

資産の効率化および財務体質の強化を図るため。

2. 投資有価証券の売却の内容

(1) 売却株式銘柄	株式会社オプトラン
(2) 売却日	2019年11月11日
(3) 売却株式数	1,000,000株
(4) 売却額	3,276百万円
(5) 投資有価証券売却益	3,199百万円

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
真空機器事業	39,934	73.4
真空応用事業	6,841	93.6
合計	46,775	75.8

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
FPD及びPV製造装置	17,897	44.8
半導体及び電子部品製造装置	10,266	25.7
コンポーネント	6,878	17.2
一般産業用装置	4,893	12.3
計	39,934	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
材料	3,300	48.2
その他	3,541	51.8
計	6,841	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。